



## 有線式バーコードリーダー バーコードプログラミングマニュアル

### 対象機種

F460	F560	F680
		
L680	F780	A770
		

この度は有線式バーコードリーダーをご購入頂き  
誠にありがとうございます。

ご利用前に本誌を十分にお読みいただき製品の準備を行って下さい。

製品のお取り扱いの注意事項 .....	1
製品の開梱 .....	1
ステータスインジケータの表示状態 .....	1
免責事項 .....	1
サポートページのご案内 .....	1
ユーザズガイド改定履歴 .....	2
各設定項目の見方 .....	3
クイックセットアップコマンド .....	3
パラメータセットアップコマンド .....	4
インターフェースコネクタの接続 .....	5
USB インターフェース (HID 又は COM) .....	5
RS232C インターフェース .....	5
PS/2(DOS/V)インターフェース .....	5
各部名称 .....	6
各インターフェースの導入時設定 .....	7
USB(HID)インターフェース .....	7
USB(COM)インターフェース .....	8
RS232C インターフェース .....	9
PS/2(DOS/V)インターフェース .....	10
インターフェース .....	11
USB(HID)インターフェース .....	11
USB(COM)インターフェース .....	11
RS232C インターフェース .....	11
PS/2 インターフェース .....	11
オペレーションモード .....	12
インターフェースコントロール .....	14
キーボードレイアウト (キーボード) .....	14
レコードサフィックス (キーボード) .....	15
プリアンブル (キーボード) .....	15
ポストアンブル (キーボード) .....	15
FNC1 シンボルキャラクタトランスミッション (キーボード) .....	16
キャプスロック (キーボード) .....	16

キャプスロックリリース (キーボード) .....	16
インターメッセージディレイ (キーボード) .....	17
インターキャラクタディレイ (キーボード) .....	17
インターファンクションディレイ (キーボード) .....	17
ファンクキーエミュレーション (キーボード) .....	18
キーパッドエミュレーション (キーボード) .....	18
アッパー/ローアー (キーボード) .....	18
STX/ETX 転送 (シリアル) .....	19
レコードサフィックス (シリアル) .....	19
プリアンブル (シリアル) .....	19
ポストアンブル (シリアル) .....	20
FNC1 シンボルキャラクタトランスミッション (シリアル) .....	20
インターメッセージディレイ (シリアル) .....	20
インターキャラクタディレイ (シリアル) .....	21
インターファンクションディレイ (シリアル) .....	21
ハンドシェイクプロトコル (シリアル) .....	21
NAK リトライカウント (シリアル) .....	22
ACK インジケーション (シリアル) .....	22
ACK インジケーション (シリアル) .....	22
ボーレート (シリアル) .....	23
データフレーム (シリアル) .....	23
シリアルレスポンスタイムアウト (シリアル) .....	24
オプションコントロール .....	25
プレゼンテーションコントロール (F 専用) .....	25
スキャンレートコントロール (F 専用) .....	25
フラッシュデュティサイクル (F 専用) .....	25
スマートスタンドパワーオフタイムアウト (L 専用) .....	26
LED イルミネーションコントロール (L 専用) .....	26
LED イルミネーションディレイ (L 専用) .....	26
1D バーコードディレクションインジケーショントランスミッション (F,L 専用) .....	27
1D バーコードフォワードリーディングインジケーション (F, L 専用) .....	27
1D バーコードバックワードリーディングインジケーション (F, L 専用) .....	27
プレゼンテーションコントロール (A 専用) .....	28
イルミネーションコントロール (A 専用) .....	28
プレゼンテーションバックグラウンドライティング (A 専用) .....	28
エイミングコントロール (A 専用) .....	29
ディレイエイミングタイムアウトコントロール (A 専用) .....	29
デコードエイミングコントロール (A 専用) .....	30

デコードエイミングコントロール (A 専用)	30
ユニークバーコードリポーティング (A 専用)	30
センターアライメント (A 専用)	31
センターアライメント (A 専用)	31
トリガーコントロール (F460 専用)	31
バッチリーディング (A 専用)	32
ブザー	35
ブザー	35
ブザーボリューム (A 専用)	35
インバースリーディング	36
パワーオンインジケータ	36
グッドリードインジケータ	36
バイブレーションコントロール	37
リダンダンシー	37
リリードディレイ	37
グッドリードディレイ	38
ライトソースオンタイム	38
ハンズフリータイムアウト	38
グッドリードデュレーション	39
タイムディレイローパワーモード	39
プレゼンテーションオートセンス	39
プレゼンテーションセンシティブリティ	40
シンボル	41
リーダブルシンボロジーセッティング	41
シンボルコード ID	42
シンボル ID トランスミッション	43
データレングストランスミッション	43
CODE39	44
TRIOPTIC CODE39	44
CODE39 (最小桁数)	45
CODE39 (最大桁数)	45
CODE39 セキュリティレベル	45
CODABER/NW-7	46
CODABAR/NW-7 (最小桁数)	46
CODABAR/NW-7 (最大桁数)	47
UPC	48
UPC/JAN セキュリティレベル	49
UPC アドオン	49

UPC サプリメントスキャンボウディング	50
JAN	51
JAN セキュリティレベル	51
JAN アドオン	52
JAN スキャンボウディング	52
新雑誌コード	53
UCC COUPON EXTENDED CODE	53
IATA	54
INTERLEAVED 2OF5	55
CODE25	55
CODE25(最小桁数)	56
CODE25(最大桁数)	56
CODE11	57
CODE11(最小桁数)	57
CODE11(最大桁数)	57
CODE93	58
CODE93(最小桁数)	58
CODE93(最大桁数)	58
MSI/PLESSEY	59
MSI/PLESSEY(最小桁数)	59
MSI/PLESSEY(最大桁数)	59
CODE128	60
CODE128(最小桁数)	60
CODE128(最大桁数)	60
GS1-128	61
GS1-128(最小桁数)	61
GS1-128(最大桁数)	61
CODE128 セキュリティレベル	62
UK/PLESSEY	63
UK/PLESSEY(最小桁数)	63
UK/PLESSEY(最大桁数)	63
TELEPEN	64
TELEPEN(最小桁数)	64
TELEPEN(最大桁数)	64
GS1 DATABER	65
GS1 DATABER(最小桁数)	65
GS1 DATABER(最大桁数)	65
GS1 DATABER LIMITED セキュリティレベル	66
COMPOSITE CODE (A 専用)	66

CODABLOCKF (A 専用)	66
PDF417/MICRO PDF417 (A 専用)	67
CODE16K (A 専用)	67
CODE16K(最小桁数) (A 専用)	67
CODE16K(最大桁数) (A 専用)	68
CODE49 (A 専用)	68
CODE49(最小桁数) (A 専用)	68
CODE49(最大桁数) (A 専用)	69
QR CODE (A 専用)	69
QR CODE(最小桁数) (A 専用)	70
QR CODE(最大桁数) (A 専用)	70
DATA MATRIX (A 専用)	70
DATA MATRIX (最小桁数) (A 専用)	71
DATA MATRIX (最大桁数) (A 専用)	71
SMALL DATA MATRIX (A 専用)	71
MAXI CODE (A 専用)	72
MAXI CODE (最小桁数) (A 専用)	72
MAXI CODE (最大桁数) (A 専用)	72
AZTEC CODE (A 専用)	73
AZTEC CODE (最小桁数) (A 専用)	73
AZTEC CODE (最大桁数) (A 専用)	73
AUSTRALIAN POST	74
US PLANET	74
US POSTNET	75
BRITISH POSTNET	75
JAPANESE POST	75
NETHERLAND KIX CODE	76
INTELLIGENT MAIL (USPS 4CB/ONE CODE)	76
KOREA POST CODE	76
<b>データウィザード</b>	<b>77</b>
データ付加機能	77
データ照合機能	79
データ置換機能	81
データ構成機能	83
データウィザードの設定方法	85
<b>ファンクションコードテーブル(キーボード)</b>	<b>89</b>
<b>ASCII コードテーブル</b>	<b>90</b>

オプションコード（設定用バーコード） .....	91
システムコマンドバーコード .....	92
サンプルバーコード .....	93

## 製品のお取り扱いの注意事項

---

本製品は安全性を十分に考慮して設計されていますが、誤った使い方をすると思わぬ事故の原因となります。ご利用方法を十分に理解してお使い頂けます様お願い申し上げます。

## 製品の開梱

---

梱包箱を開けた際は、下記の確認を行ってください。

- ・製品およびケーブル等の損傷がないか確認します。  
損傷があった場合は、すぐに配達運送会社および販売店にご連絡ください。
- ・箱の中身に間違いがないか確認します。
- ・修理時の返却もしくは返送が必要な場合に梱包箱が必要になる場合がございます。  
大切に保管してください。

## ステータスインジケータの表示状態

---

- ・無点灯                    ・・・読み取り待機状態 又は電源 OFF
- ・青点灯（緑点灯）・・・読み取り成功

## 免責事項

---

- ・CINO ブランド（PCWotr社）及び弊社は、本書に記載された使用およびその他の情報を事前に断りなく変更することがあります。
- ・本書の記載内容や編集上の誤り等で発生した損害については、PCW 及び弊社は一切の責任を負いません。
- ・本書には著作権で保護された情報が含まれ著作権法の対象になります。

## サポートページのご案内

---

各種ツールやドキュメントをご希望の方は下記の URL よりダウンロード頂けます。

「サービス&サポート」のホームページ URL

<http://www.improject.co.jp/support/download.html>

ユーザーID : cinopartner    パスワード : improject



## ユーザズガイド改定履歴

---

改定日付	REV	改定内容
2016年9月	3.0(D10)	有線式バーコードリーダー統合版をリリース

## 各設定項目の見方

本製品の設定は、本書記載のバーコードコマンドを利用します。  
設定手順は該当する項目に直接記載をしております。  
このページでは各項目の名称や留意事項をお知らせ致します。

### クイックセットアップコマンド

下記のフォーマットの記載項目では、設定開始バーコードなどは必要なく該当の項目を一度読み取ることで設定が変更されます。

クイックセットアップコマンド・無線接続モードが該当します。

表示参照例：

クイックセットアップコマンド	
クイックセットアップコマンドはホストインターフェース・オペレーションモードを容易に設定できるコマンドです。 クイックセットアップコマンドは設定開始バーコードから設定する必要はありません。 該当するコマンドを読み取って頂くことで設定変更が可能です。	
ホストインターフェース	
PS/2 (DOS/V) KBW Standard Mode (PS/2 スタンドモードインターフェース(DOS/V))	PS/2 (DOS/V) KBW Turbo Mode (PS/2 ターボモードインターフェース(DOS/V))
	
Keyboard Replacement (PS/2 リプレイメントインターフェース)	RS232 Serial (RS232 インターフェース)
	

## 各設定項目の見方

### パラメータセットアップコマンド

下記のフォーマット記載項目では、設定開始・設定終了のバーコードが必要になります。  
クイックセットアップコマンド以外は以下の方法で設定します。

#### 表示参照例



設定開始

#### 設定開始バーコード



設定終了

#### 設定終了バーコード

#### 設定手順

Code 39

設定開始

項目バーコード

オプションコード(巻末)

設定終了

設定コード	設定値
Code 39 読まない	0
Code 39 読む (初期値)	1
Code 39 スタンダードプライマリフォーマット (初期値)	2
Full ASCII Code 39 プライマリフォーマット	3
Code 32 プライマリフォーマット	4
スタートストップキャラクタを転送しない (初期値)	5
スタートストップキャラクタを転送する	6

設定例 : 「Code39 を読まない」に設定

設定開始      項目バーコード      Code39 読まないの右側の番号が0の為、  
巻末の設定用バーコードより「0」を読み取る      設定終了

設定例 : 「スタートストップキャラクタを転送する」に設定

表示例を見て頂くと設定変更項目に白い部分と色がついているに分かれています。  
これは、Code39 に数種類に設定項目があることを表しています。

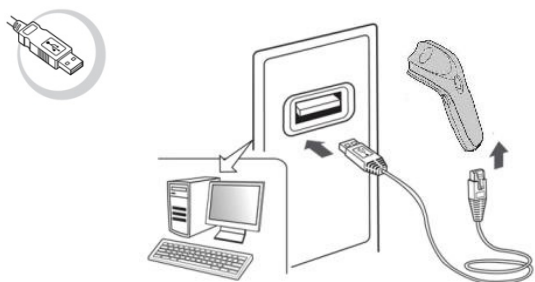
設定開始      項目バーコード      巻末の設定用バーコードより「4」を読み取る  
再度項目バーコード      巻末の設定用バーコードより「6」を読み取る      設定終了

設定例 の場合、連続して「4」「6」と読み取ると正しく設定が行えませんのでご注意ください。

## インターフェースコネクタの接続

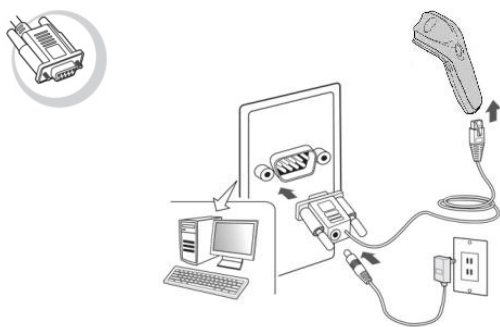
本バーコードリーダーのインターフェースはUSB、RS232C、PS/2(DOS/V)を選択頂けます。  
選択したインターフェースに応じてホストに正しく接続して下さい。

### USB インターフェース (HID 又は COM)

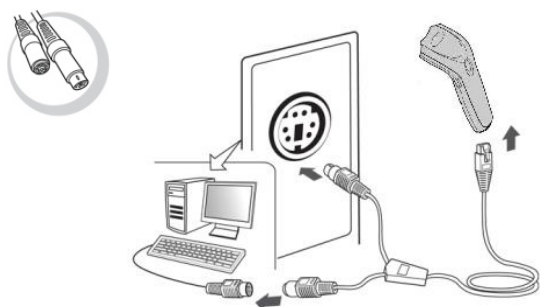


**\*USB(COM)ポートエミュレーションをご選択の方はホストに USB コネクタを接続する前に  
専用の USB シリアルドライバーをインストールして下さい。**

### RS232C インターフェース



### PS/2(DOS/V)インターフェース



## 各部名称

各モデルの各部名称は以下の表ををご参照下さい。

モデル名		ケーブルの着脱方法
F460		
	パワーインジケータ ステータスインジケータ トリガ スキャンウインドウ ビームパイプ ケーブルリリースホール	
F560		
	ステータスインジケータ トリガ スキャンウインドウ ビームパイプ ケーブルリリースホール	
F680/L680		
	パワーインジケータ ステータスインジケータ トリガ スキャンウインドウ ビームパイプ ケーブルリリースホール	
F780		
	パワーインジケータ ステータスインジケータ トリガ スキャンウインドウ ビームパイプ ケーブルリリースホール	
A770		
	パワーインジケータ ステータスインジケータ トリガ スキャンウインドウ ビームパイプ ケーブルリリースホール	

## 各インターフェースの導入時設定

---

機器お届け時にご指定のインターフェースに応じた設定を行っております。

詳細な設定の必要のない場合は、接続してすぐにお使いいただけます。

繰り返しスキャナを機器に接続してもデータが表示されない場合は、以下に記載する項目を設定していただくことでお届け時の設定に戻すことができます。



### USB(HID)インターフェース

Factory Default (工場出荷時設定)



USB スタンダードインターフェース



日本語キーボードレイアウト



設定開始



パイブレーションコントロール



無効



設定終了



本設定を繰り返し行ってもデータが表示されない場合は販売店にお問い合わせ下さい。

## 各インターフェースの導入時設定

---



### USB(COM)インターフェース

\*USB(COM)インターフェースでご使用の場合は、接続機器に専用のUSBシリアルドライバのインストールが必要となります。

USBシリアルドライバは下記のサイトよりダウンロード出来ます。

<http://www.improject.co.jp>

Factory Default (工場出荷時設定)



USB(COM)ポートエミュレーション



設定開始



パイプレーションコントロール



無効



設定終了



本設定を繰り返し行ってもデータが表示されない場合は販売店にお問い合わせ下さい。

## 各インターフェースの導入時設定



### RS232C インターフェース

RS232C の通信初期設定			
ボーレート	: 9600	パリティ	: None
データ長	: 8	ストップビット	: 1

Factory Default (工場出荷時設定)



RS232C インターフェース



設定開始



バイブレーションコントロール



無効



設定終了



本設定を繰り返し行ってもデータが表示されない場合は販売店にお問い合わせ下さい。



## 各インターフェースの導入時設定

---



### PS/2(DOS/V)インターフェース

Factory Default (工場出荷時設定)



PS/2(DOS/V)インターフェース



日本語キーボードレイアウト



設定開始



パイプレーションコントロール



無効



設定終了





本設定を繰り返し行ってもデータが表示されない場合は販売店にお問い合わせ下さい。

## インターフェース

通信/充電クレードルをご利用の場合はインターフェースの設定が必要になります。  
ご希望のインターフェース設定を選び該当のバーコードを読み取って下さい。

### USB(HID)インターフェース

スタンダードモード (初期値)	ターボモード (高速転送モード)
	
レガシーモード	<b>* A770 はレガシーモード非対応</b>
	

### USB(COM)インターフェース






注意：USB(COM)インターフェースをご利用の場合は専用の USB シリアルドライバのインストールを行って下さい。シリアルドライバは弊社ホームページよりダウンロード頂けます。

### RS232C インターフェース



### PS/2 インターフェース

スタンダードモード	ターボモード (高速転送モード)
	
リプレースメントモード	
	

USB HID 又は PS/2 インターフェースをご選択された場合は  
下記の「日本語キーボード対応」バーコードを読み取って下さい。



## オペレーションモード

ご使用の用途に応じてスキャナの動作モードを選択することができます。

該当の項目を読みとって頂くことで設定が変更されます。

トリガーモード (初期値)	
(F460、F560、F680、L680、F780)	(A770)
	
トリガーを引くと読み取り LED を発光します。 バーコードをデコードするとスキャナは待機状態になります。	
ローパワーモード	
(F460、F560、F680、L680、F780)	(A770)
	
トリガーを引くと読み取り LED を発光します。 バーコードをデコードするとスキャナは休止状態になります。 この設定はをすることで省電力設定としてご利用いただけます。	
プレゼンテーションモード	
(F460、F560、F680、L680、F780)	(A770)
	
周囲の光の差分を検地して読み取り LED を発光します。 デコード後一定時間が経過すると自動消灯しは周囲に変化があると再度自動発光します。 注 1：周囲 Lux の環境が十分でない場合、適切に動作しない場合がございます。	
フォースモード	
(F460、F560、F680、L680、F780)	(A770)
	
自動で継続的に読み取り LED を発光します。 バーコードを高速でデコードする環境にはこのモードをご利用ください。	

## オペレーションモード

<b>フラッシュモード</b>	
(F460、F560、F680、L680、F780)	
	
<p>自動で継続的に読み取り LED を点滅発光します。 点滅のタイミング時間は設定により変更することができます。</p>	
<b>オルタネイティブモード</b>	
(F460、F560、F680、L680、F780)	(A770)
	
<p>トリガーを引くと読み取り LED を発光します。 発光中は連続して読み取りを行いますが一定時間が経過すると消灯するモードです。</p>	
<b>トグルモード</b>	
(F460、F560、F680、L680、F780)	(A770)
	
<p>トリガーを引くと読み取り LED を発光します。 発光中は連続して読み取りを行い発光中に再度トリガーを引くと読み取り LED を消灯します。</p>	
<b>レベルモード</b>	
(F460、F560、F680、L680、F780)	(A770)
	
<p>トリガーを引くと読み取り LED を発光します。 発光してから設定した時間を経過したら読み取り LED を消灯します。</p>	
<b>マルチプルリードモード</b>	
	(A770)
	
<p>トリガーを引くと読み取り LED を発光します。 引き続けることで複数のバーコードを連続で読み取ります。</p>	

## インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

設定手順

### キーボードレイアウト (キーボード)

設定開始

項目バーコード

オプションコード(巻末)

設定終了

キーボードレイアウト設定をします。	
	
アメリカ ( QWERTY ) ( 初期値 )	00
フランス ( AZERTY )	01
ドイツ ( QWERTZ )	02
イギリス - 英国 ( QWERTY )	03
カナダフランス ( QWERTY )	04
スペイン ( Spanish , QWERTY )	05
スウェーデン/フィンランド ( QWERTY )	06
ポルトガル ( QWERTY )	07
ノルウェー ( QWERTY )	08
スペイン ( Latin America , QWERTY )	09
イタリア ( QWERTY )	10
オランダ ( QWERTY )	11
デンマーク ( QWERTY )	12
ベルギー ( AZERTY )	13
スイス - ドイツ ( QWERTZ )	14
アイスランド ( QWERTY )	15
日本 ( DOS/V )	16
チェコ ( QWERTY )	17

## インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

設定手順

### レコードサフィックス (キーボード)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

端末キーの設定をします。	
無し	0
RETURN (初期値)	1
TAB	2
SPACE	3
ENTER (数字キーパット)	4
任意キャラクタ指定	5[00 - 7F]

設定手順

### プリアンブル (キーボード)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

データの前に任意のキャラクタを設定します。	
無し (初期値)	セット
任意キャラクタ指定 (1~15桁で設定)	[00 - 7F]

設定手順

### ポストアンブル (キーボード)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

データの後ろに任意のキャラクタを設定します。	
無し (初期値)	セット
任意キャラクタ指定 (1~15桁で設定)	[00 - 7F]

## インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

設定手順

FNC1 シンボルキャラクタトランスミッション (キーボード) 設定開始 項目バーコード  
オプションコード(巻末) 設定終了

データソースに FNC1 があった場合にキー転送する設定をします。	
	
無効	0
有効 (初期値)	1

設定手順

キャプスロック (キーボード) 設定開始 項目バーコード  
オプションコード(巻末) 設定終了

キャプスロックの設定をします。	
	
無効 (初期値)	0
有効	1
自動判別	2

設定手順

キャプスロックリリース (キーボード) 設定開始 項目バーコード  
オプションコード(巻末) 設定終了

キャプスロックを一時的に解除する設定をします。	
	
キャプスロック有効、キャプス無効 (初期値)	0
キャプスロック有効、シフト無効	1

## インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

設定手順

### インターメッセージディレイ (キーボード)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

データを出力する前にディレイを設定します。	
無効 (初期値)	0
設定値 1 - 99 (設定値 × 0.005 秒)	2桁

設定手順

### インターキャラクタディレイ (キーボード)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

データのキャラクタ毎にディレイを設定します。	
無効 (初期値)	0
設定値 1 - 99 (設定値 × 0.005 秒)	2桁

設定手順

### インターファンクションディレイ (キーボード)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

データの後ろにディレイを設定します。	
無効 (初期値)	0
設定値 1 - 99 (設定値 × 0.005 秒)	2桁



## インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

### ファンクキーエミュレーション (キーボード)

設定手順  
設定開始      項目バーコード  
オプションコード(巻末)      設定終了

ファンクションキーの転送方法を設定します。	
ASCII 00-31 キーファンクションコードで転送する (初期値)	0
Ctrl で転送する	1

### キーパッドエミュレーション (キーボード)

設定手順  
設定開始      項目バーコード  
オプションコード(巻末)      設定終了

数値キーパッドで転送を設定します。	
無効 (初期値)	0
有効 (Num Lock On)	1

### アッパー/ローアー (キーボード)

設定手順  
設定開始      項目バーコード  
オプションコード(巻末)      設定終了

キーボードのデータ出力形式を設定します。	
標準 (初期値)	0
反転	1
上段	2
下段	3

## インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

### STX/ETX 転送 (シリアル)

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

STX/ETX 転送を設定します。	
	
無効 (初期値)	0
有効	1

### レコードサフィックス (シリアル)

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

終端キーの設定をします。	
	
無効	0
CR (Hex:0D) (初期値)	1
LF (Hex:0A)	2
CRLF (Hex:0D0A)	3
TAB (Hex:09)	4
SPACE (Hex:20)	5

### プリアンプル (シリアル)

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

データの前に任意のキャラクタを設定します。	
	
無効 (初期値)	セット
任意キャラクタ指定 (1~15桁で設定)	[00 - 7F]

## インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

### ポストアンプル (シリアル)

設定手順

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

データの後ろに任意のキャラクタを設定します。	
	
無効 (初期値)	セット
任意キャラクタ指定 (1~15桁で設定)	[00 - 7F]

設定手順

### FNC1 シンボルキャラクタトランスミッション (シリアル)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

データソースに FNC1 があつた場合にキー転送する設定をします。	
	
無効	0
有効 (初期値)	1

設定手順

### インターメッセージディレイ (シリアル)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

データを出力する前にディレイを設定します。	
	
無効 (初期値)	0
設定値 1 - 99 (設定値 × 0.005 秒)	2 桁

## インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

設定手順

### インターキャラクタディレイ (シリアル)

設定開始 項目バーコード

オプションコード(巻末) 設定終了

データのキャラクタ毎にディレイを設定します。	
無効 (初期値)	0
設定値 1 - 99 (設定値 × 0.005 秒)	2 桁

設定手順

### インターファンクションディレイ (シリアル)

設定開始 項目バーコード

オプションコード(巻末) 設定終了

データの後ろにディレイを設定します。	
無効 (初期値)	0
設定値 1 - 99 (設定値 × 0.005 秒)	2 桁

設定手順

### ハンドシェイクプロトコル (シリアル)

設定開始 項目バーコード

オプションコード(巻末) 設定終了

フロー制御を設定します。	
無効 (初期値)	0
RTS/CTS (ハードウェアハンドシェイク)	1
ACK/NAK (ソフトウェアハンドシェイク)	2
Xon/Xoff (ソフトウェアハンドシェイク)	3

## インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

### NAK リトライカウント (シリアル)

設定手順

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

データ送信後のフロー制御応答回数の制限を設定します。	
	
3 回 (初期値)	セット
0 回 ~ 255 回	3 桁

設定手順

### ACK インジケーション (シリアル)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

ACK 応答の表示に関する設定をします。	
	
無効 : タイムアウト (初期値)	0
有効 : タイムアウト	1

設定手順

### ACK インジケーション (シリアル)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

ACK 応答の表示に関する設定をします。	
	
無効 (初期値)	2
有効	3

# インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

## ボーレート (シリアル)

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

通信速度を設定します。			
			
38400BPS	0	2400BPS	4
19200BPS	1	1200BPS	5
9600BPS (初期値)	2	57600BPS	8
4800BPS	3	115200BPS	9

## データフレーム (シリアル)

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

データのフォーマットを設定します。			
見方: 「8、無し、1」 = 8ビット、パリティ無し、1ストップビット			
			
8、無し、1 (初期値)	0	7、スペース、1	8
8、偶数、1	1	7、マーク、1	9
8、奇数、1	2	7、無し、2	A
8、スペース、1	3	7、偶数、2	B
8、マーク、1	4	7、奇数、2	C
8、無し、2	5		
7、偶数、1	6		
7、奇数、1	7		

# インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

設定手順

シリアルレスポンスタイムアウト (シリアル)

設定開始

項目バーコード

オプションコード(巻末)

設定終了

スキャナが応答を待機する時間を設定します。			
			
無効	0	3 秒	6
0.2 秒	1	4 秒	7
0.5 秒 (初期値)	2	5 秒	8
0.8 秒	3	8 秒	9
1 秒	4	10 秒	A
2 秒	5		

## オプションコントロール



設定開始



設定終了

設定手順

### プレゼンテーションコントロール (F 専用)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

スキャナがスタンドにセットされた場合に自動発光モードに切り替わります。  
不十分な照明環境下ではフラッシュモード又はフォースモードを推奨します。(F560 非対応)



プレゼンテーションモード (初期値)	0
フラッシュモード	1
フォースモード	2

設定手順

### スキャンレートコントロール (F 専用)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

読み取り環境に合わせた設定をします。



動的 (初期値)	0
固定	1

設定手順

### フラッシュデュティサイクル (F 専用)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

フラッシュモードの点滅間隔を調整します。



1/2 回 (初期値)	0
2/3 回	1
3/4 回	2
4/5 回	3



## オプションコントロール



設定開始



設定終了

設定手順

スマートスタンドパワーオフタイムアウト (L 専用)

設定開始

項目バーコード

オプションコード(巻末)

設定終了

スキャナがスタンドにセットされている時の照明点灯時間を設定します。



3分 (初期値)	0
5分	1
10分	2

設定手順

LED イルミネーションコントロール (L 専用)

設定開始

項目バーコード

オプションコード(巻末)

設定終了

常にオンを選択した場合はトリガーを引くと照明が同期して発光します。

インテリジェントモードを選択した場合はトリガーを引いた後に  
LED イルミネーションディレイで設定した時間が経過後に照明が発光します。



常にオン	0
インテリジェントモード (初期値)	1

設定手順

LED イルミネーションディレイ (L 専用)

設定開始

項目バーコード

オプションコード(巻末)

設定終了

LED イルミネーションコントロールを選択した際の照明遅延時間の設定をします。



0.1 秒	0	0.25 秒	2
0.15 秒 (初期値)	1	0.3 秒	3
0.2 秒	0		

## オプションコントロール



設定開始



設定終了

### 1D バーコードディレクションインジケーション トランスミッション (F,L 専用)

設定手順  
設定開始 項目バーコード  
オプションコード(巻末) 設定終了

1次元バーコードを読み取った際の正方向、逆方向を判別します。



無効 (初期値)	0
プリフィックスに方向キャラクタを付加する	1
サフィックスに方向キャラクタを付加する	2
プリフィックスとサフィックスに方向キャラクタを付加する	3

### 1D バーコードフォワードリーディング インジケーション (F, L 専用)

設定手順  
設定開始 項目バーコード  
オプションコード(巻末) 設定終了

1Dバーコードディレクションインジケーショントランスミッションの正方向キャラクタを設定します。



無効 (初期値)	0
キャラクタ「S」	1
任意キャラクタ指定 (1キャラクタ)	2[00 - 7F]

### 1D バーコードバックワードリーディング インジケーション (F, L 専用)

設定手順  
設定開始 項目バーコード  
オプションコード(巻末) 設定終了

1Dバーコードディレクションインジケーショントランスミッションの逆方向キャラクタを設定します。



無効 (初期値)	0
キャラクタ「X」	1
任意キャラクタ指定 (1キャラクタ)	2[00 - 7F]

## オプションコントロール



設定開始



設定終了

設定手順

### プレゼンテーションコントロール (A 専用)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

<p>スキャナがスタンドにセットされた場合に自動発光モードに切り替わります。 不十分な照明環境下ではフォースモードを推奨します。</p>	
プレゼンテーションモード (初期値)	0
フォースモード	1

設定手順

### イルミネーションコントロール (A 専用)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

<p>バーコード読み取り照明の有効と無効を設定します。 イルミネーションコントロールはハンドヘルドモードのみ対応です。</p>	
無効	0
有効 (初期値)	1

設定手順

### プレゼンテーションバックグラウンド ライティング (A 専用)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

<p>プレゼンテーションモード使用時のバックライトの有効と無効を設定します。</p>	
無効	0
有効 (初期値)	1

## オプションコントロール



設定開始



設定終了

設定手順

### エイミングコントロール (A 専用)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

エイミングコントロールはトリガーモードのみに有効です。

インテリジェントエイミングではスキャナを持ち上げるとエイミングがオンになります。  
トリガーを引くとデコード処理を起動して 2 秒休止後にエイミングがオフになります。

ディレイエイミングコントロールはディレイエイミングタイムアウトコントロールで  
設定した時間中はエイミングがオンになります。

ディレイ時間が過ぎるまで読み取り照明を発光せずに読み取りも行いません。



標準エイミング	0
インテリジェントエイミング (初期値)	1
ディレイエイミングコントロール	1

設定手順

### ディレイエイミングタイムアウトコントロール (A 専用)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

エイミングコントロール設定でディレイエイミングコントロールを  
有効にしたときのみ有効な設定です。



0.2 秒	0	1.5 秒	4
0.4 秒	1	2 秒	5
0.5 秒 (初期値)	2	3 秒	6
1 秒	3	4 秒	7

# オプションコントロール



設定開始



設定終了

## デコードエイミングコントロール (A 専用)

設定手順

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

読み取りを行う際のエイミングの有効と無効を設定します。	
ハンドヘルドモード無効	0
ハンドヘルドモード有効(初期値)	1

## デコードエイミングコントロール (A 専用)

設定手順

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

読み取りを行う際のエイミングの有効と無効を設定します。	
ハンズフリーモード無効	2
ハンズフリーモード有効(初期値)	3

## ユニークバーコードリポーティング (A 専用)

設定手順

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

トリガーを引き続けると新しいバーコードのみを出力します。 この機能はマルチプルリードモードが選択されているときに有効な設定です。	
無効(初期値)	0
有効	1

## オプションコントロール



設定開始



設定終了

### センターアライメント (A 専用)

設定手順

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

エイミングライン周辺のバーコードを優先的に読み取ります。	
ハンドヘルドモード無効	0
ハンドヘルドモード有効(初期値)	1

設定手順

### センターアライメント (A 専用)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

エイミングライン周辺のバーコードを優先的に読み取ります。	
ハンズフリーモード無効	2
ハンズフリーモード有効(初期値)	3

設定手順

### トリガーコントロール (F460 専用)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

トリガースイッチの有効と無効を設定します。	
左トリガー：有効    右トリガー：無効	0
左トリガー：無効    右トリガー：有効	1
左トリガー：有効    右トリガー：有効(初期値)	2

## オプションコントロール



設定開始




設定終了

設定手順

### バッチリーディング (A 専用)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

スキャナは読み取ったデータを一時的にスキャナに保持して 設定したとおりのフォーマットで出力します。	
	
無効 (初期値)	セット
バッチリーディングのルール (01 ~ 16 ルールまで設定可能)	2 桁

### \* バッチリーディングについて \*

この機能が有効の場合、1回のトリガーイベントで複数のバーコードを1つずつ連続して読み取れます。この設定で設定したシンボルを読み取るとグッドリードビープ音でお知らせします。



この様にランダムにバーコードが配置されている場合でも、読み取りの順番に関わらず “バッチリーディングのルール設定” で定義したフォーマットに従って出力することが可能です。

## オプションコントロール

### \* バッチリーディングの設定方法について \*

バッチリーディングのルール設定構造

[ルール設定数] [ルール設定1] FF [ルール設定2] FF ... [ルール設定n] FF

バッチリーディングのルール設定方法は下記の通りとなります。

順序	項目内容	設定バーコード	汎用コード
1	設定を開始する	設定開始	-
2	バッチリーディングルール数の設定	バッチリーディングルールの設定	-
3	(01-16)	オプションコード 2桁(01-16)	
4 : 繰 り 返 し	シンボル ID を設定	オプションコード 2桁	99
	読み取り桁数の設定	オプションコード 4桁	9999
	スタートキャラクタの照合(最大 4 桁)	オプションコード 2桁~8桁	99
	ルールのセット	オプションコード「FF」	-
5	ルールの確定	オプションコード「FIN」	-
6	設定を終了する	オプションコード「END」	-

### バッチリーディングルールの繰り返し項目の説明

#### [シンボル ID] 設定桁数：2 桁

シンボル ID は目的のシンボル ID をシンボル ID テーブルの HEX 値を確認して、オプションコードで 2 桁の Hex 値で設定をします。

99 は汎用の値となり全てのシンボルを許可します。

#### [読み取り桁数] 設定桁数：4 桁

シンボルの読み取り桁数を指定します。

読み取り桁数を設定する際は、予め設定された「プリアンブル」「ポストアンブル」「読み取り桁数」「プリフィックス/サフィックス」「シンボル ID」を含む全ての出力データを考慮する必要があります。9999 は汎用の値となり全ての桁数を許可します。

#### [スタートキャラクタの照合] 設定桁数：2 桁～8 桁

全てのデータの先頭から 4 桁目までを照合します。

ASCII コード表を参照して照合させたい文字を表す HEX 値を設定します。

例えば「0」を設定する場合はオプションコードの「3」「0」と入力します。

キャラクタの照合を設定する際は、予め設定された「プリアンブル」「ポストアンブル」「読み取り桁数」「プリフィックス/サフィックス」「シンボル ID」を含む全ての出力データを考慮する必要があります。FF は汎用の値となり全てのキャラクタを許可します。



## オプションコントロール

### バッチリーディングのルールの設定例

この例では、Code 39、Code 128、Code 93 を読み取り、指定のフォーマットで出力します。



**[設定開始] [バッチリーディング] [0301999941FF0799994243FF09999945464748FF]**

**[セット] [設定終了]**

コマンドの内容は次のとおりです。

03	全体的なルールの設定数
01	Code 128 のシンボル ID
9999	Code 128 の場合に対応する読み取り桁数「9999」: 汎用コード
41	Code 128 に対応するスタートキャラクタの照合、41h="A"
FF	1 番目のルールの終わり
07	Code 39 のシンボル ID
9999	Code 39 の場合に対応する読み取り桁数「9999」: 汎用コード
4243	Code 39 に対応するスタートキャラクタの照合、42h = " B " , 43h = " C "
FF	2 番目のルールの終わり
09	Code 93 のシンボル ID
9999	Code 93 の場合に対応する読み取り桁数「9999」: 汎用コード
45464748	Code 93 に一致した開始文字、45h = " E " , 46h = " F " , 47h = " G " , 48h = " H "
FF	3 番目ののコードの終わり

注意：プリアンブル、ポストアンブル、読み取りデータ桁数、プリフィックス、サフィックス、シンボル ID, を有効にした場合は設定桁数に 1 桁追加する必要があります。

### データ列の構造

STX (RS232/USB COM interface)	Preamble	Scanned Data Length	Prefix Symbol ID Or Prefix AIM Symbol ID	Scanned Data modified by DataWizard	Suffix Symbol ID Or Suffix AIM Symbol ID	Postamble	ETX (RS232/USB COM interface)
1 character	1-15 characters	2-4 digits	1 or 3 characters	Variable length	1 or 3 characters	1-15 characters	1 character

## オプションコントロール



設定開始




設定終了

### ブザー

設定手順

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

読み取りブザーの音程を設定します。	
	
無効	0
低音	1
標準 (初期値)	2
高音	3
最高音	4

設定手順

### ブザー

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

起動音の設定をします。	
	
有効 (初期値)	5
無効	6

設定手順

### ブザーボリューム (A 専用)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

ブザー音量の設定をします。	
	
小	0
中	1
大 (初期値)	2

## オプションコントロール



設定開始



設定終了

### インバースリーディング

設定手順

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

白黒反転バーコードに関する設定をします。	
無効 (初期値)	0
有効	1

設定手順

### パワーオンインジケータ

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

起動中のインジケータの点灯方法を設定します。	
無効	0
点灯 (初期値)	1
点滅	2

設定手順

### グッドリードインジケータ

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

読み取り成功時のインジケータの点灯を設定します。	
無効	0
有効 (初期値)	1

## オプションコントロール



設定開始



設定終了

設定手順

### バイブレーションコントロール

設定開始

項目バーコード

オプションコード(巻末)

設定終了

読み取り成功時のバイブレーションの設定をします。



無効	0
有効 (初期値)	1

設定手順

### リダンダンシー

設定開始

項目バーコード

オプションコード(巻末)

設定終了

読み取り照合レベルの設定をします。



無効	0	レベル 3	3
レベル 1 (初期値)	1	レベル 4	4
レベル 2	2	レベル 5	5

設定手順

### リリードディレイ

設定開始

項目バーコード

オプションコード(巻末)

設定終了

同一バーコードの読み取りタイミングの設定をします。



無効	0	標準	3
即時 (初期値)	1	長い	4
短い	2	読まない	5

## オプションコントロール



設定開始



設定終了

設定手順

### グッドリードディレイ

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

読み取り後の次のバーコード読み取りに関する設定をします。



無効 (初期値)	0	1.5 秒	4
0.2 秒	1	2 秒	5
0.5 秒	2	3 秒	6
1 秒	3		

設定手順

### ライトソースオンタイム

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

読み取り LED の投光時間の長さを設定します。



短い	0	長い (初期値)	2
標準	1	最長	3

設定手順

### ハンズフリータイムアウト

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

マニュアルトリガーモードの状態を維持する時間を設定します。

この機能はハンズフリーモード使用時のみ対応します。



短い (初期値)	0	最長	3
標準	1	無効	4
長い	2		

## オプションコントロール



設定開始



設定終了

設定手順

### グッドリードデュレイション

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

読み取り成功音の長さを設定します。			
短い	0	最長	3
標準 (初期値)	1	最短	4
長い	2		

設定手順

### タイムディレイローパワーモード

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

スキャン後に省電力状態に移行する時間を設定します。 この機能はローパワーモード使用時のみ対応します。			
1 秒	0	7 秒	3
3 秒	1	9 秒	4
5 秒	2	無効 (初期値)	5

設定手順

### プレゼンテーションオートセンス

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

スタンドにセットした場合のハンズフリーモード設定をします。 この機能はハンズフリーモード使用時のみに対応します。	
無効	0
有効 (初期値)	1

# オプションコントロール

---



設定開始



設定終了

## プレゼンテーションセンシティビティ

設定手順

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

プレゼンテーションモード使用時の発光感度の調整をします。



レベル1	0	レベル5 (初期値)	4
レベル2	1	レベル6	5
レベル3	2	レベル7	6
レベル4	3		

# シンボル



設定開始



設定終了

設定手順

## リーダブルシンボロジーセッティング

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

読み取りシンボルを設定します。



自動 (初期値)	00	GS1 Databar (RSS-14)	14
Code-128	01	IATA	15
GS1-128	31	PDF417/MicroPDF417 *	17
UPC-A	02	CodablockF *	18
UPC-E	03	Code 16K *	19
JAN-13	04	Code49 *	20
JAN-8	05	Korea Post Code	21
Codabar / NW-7	06	QR Code/Micro QR Code	A0
Code39	07	Data Matrix *	A1
Tripotic Code 39	47	Maxi Code *	A2
Standard / Industrial 2 of 5	08	Aztec Code *	A3
Matrix 2 of 5	38	Chinese Sensible(Han Xin) Code*	A4
Interleaved 2 of 5	48	Australian Post	B0
Caina Postal Code	58	British Post	B1
Germany Postal Code	68	Intelligent Mail	B3
Code93	09	Japanese Post	B4
Code11	10	KIX Post	B5
MSI/Plessey	11	Planet Code	B6
UK/Plessey	12	Postnet	B8
Telepen	13		

\* (2次元モデルA専用)



# シンボル



設定開始



設定終了

設定手順

## シンボルコード ID

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

各シンボルのコード ID を設定します。(初期値 Ci = CINO\_ID , AI = AIM\_ID)



Code-128 ( Ci=B,AI= ]C )	00	Trioptic Code39 ( Ci=W,AI=]X )	20
GS1-128 ( Ci=C,AI=]C )	01	UCC Cupoupon Expanded Code ( Cino=Z )	21
UPC-A ( Ci=A,AI=]E )	02	PDF417/MicroPDF417 ( Ci=V,AI=]L )	22
JAN-13 ( Ci=F,AI=]E )	03	CodablockF ( Ci=Y,AI=]O )	23
Codabar/NW-7 ( Ci=D,AI=]F )	04	Code16K ( Ci=Q,AI=]K )	24
Code39/Code32 ( Ci=G,AI=]A )	05	Code49 ( Cino=U,AIM=]T )	25
Code93 ( Ci=H,AI=]G )	06	Koria Post Code ( Cino=a,AIM=]X )	26
Standard/Industrial2of5 ( Ci=I,AI=]S )	07	QR & Micro QR Code ( Cino=b,AIM=]Q )	28
Inateleaved2of5 ( Ci=J,AI=]i )	08	Data Matrix ( Cino=c,AIM=]d )	29
Matrix2of5 ( Ci=K,AI=]X )	09	Maxi Code ( Cino=d,AIM=]U )	30
Chaina Postal Code ( Ci=L,AI=]X )	10	Aztec Code ( Cino=e,AIM=]z )	31
German Postal Code ( Ci=M,AI=]I )	11	Chinese Sensible ( Cino=f,AIM=]X )	32
IATA ( Ci=O,AI=]R )	12	Australian Post ( Cino=g,AIM=]X )	33
Code11 ( Ci=P,AI=]H )	13	British Post ( Cino=h,AIM=]X )	34
MSI/Plessey ( Ci=R,AI=]M )	14	Intelligent Mail* ( Cino=j,AIM=]X )	36
UK/Plessey ( Ci=S,AI=]P )	15	Japan Post ( Cino=k,AIM=]X )	37
Telepen ( Ci=T,AI=]B )	16	Netherlands KIX Post ( Cino=l,AIM=]X )	38
GS1 Databar ( Ci=X,AI=]e )	17	US Planet ( Cino=m,AIM=]X )	39
UPC-E ( Ci=E,AI=]E )	18	US Postnet ( Cino=o,AIM=]X )	41
JAN-8 ( Ci=N,AI=]E )	19		

\* (USPS 4CB/One Code)

## シンボル



設定開始




設定終了

設定手順

### シンボル ID トランスミッション

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

シンボル ID の転送設定をします。	
	
シンボル ID を転送しない (初期値)	0
データの先頭に CINO シンボル ID を付加する。	1
データの後ろに CINO シンボル ID を付加する。	2
データの先頭と後ろに CINO シンボル ID を付加する。	3
データの先頭に AIM シンボル ID を付加する。	4
データの後ろに AIM シンボル ID を付加する。	5
データの先頭と後ろに AIM シンボル ID を付加する。	6

設定手順

### データレングストランスミッション

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

読み取りデータの桁数を出力します。	
	
無効 (初期値)	0
有効 (2-4 桁)	1

# シンボル



設定開始



設定終了

設定手順

## Code39

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

Code39 の各種パラメータを設定します。	
	
Code39 を読まない	0
Code39 を読む (初期値)	1
Code39 スタンダードフォーマット (初期値)	2
Full ASCII Code39 フォーマット	3
Code32 フォーマット	4
スタートストップキャラクタを転送しない (初期値)	5
スタートストップキャラクタを転送する	6
Code32 「A」を転送しない (初期値)	7
Code32 「A」を転送する	8
モジュラス 43 で計算しない (初期値)	9
モジュラス 43 で計算する	A
チェックデジットを転送しない (初期値)	B
チェックデジットを転送する	C
Code39 をバッファリングしない (初期値)	D
Code39 をバッファリングする	E

設定手順

## Trioptic Code39

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

Trioptic Code39 の読み取り可否を設定します。	
	
無効 (初期値)	0
有効	1

# シンボル



設定開始



設定終了

## Code39(最小桁数)

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

Code39 の最小桁数を設定します。	
1 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

## Code39(最大桁数)

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

Code39 の最大桁数を設定します。	
98 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

## Code39 セキュリティレベル

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

Code39 のセキュリティレベルを設定します。	
レベル 0	0
レベル 1	1
レベル 2 (初期値)	2
レベル 3	3

# シンボル



設定開始



設定終了

## Codaber / NW-7

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

Codaber / NW-7 の各種パラメータを設定します。	
	
Codaber / NW-7 を読まない	0
Codaber / NW-7 を読む (初期値)	1
Codaber / NW-7 スタンダードフォーマット (初期値)	2
Codabar / NW-7 ABC フォーマット	3
Codaber / NW-7 CLSI フォーマット	4
Codaber / NW-7 CX フォーマット	5
スタートストップキャラクタを転送しない (初期値)	6
スタートストップキャラクタを ABCD/ABCD で転送する	7
スタートストップキャラクタを abcd/abcd で転送する	8
スタートストップキャラクタを ABCD/TN*E で転送する	9
スタートストップキャラクタを abcd/tn*e で転送する	A
モジュラス 16 で計算しない (初期値)	B
モジュラス 16 で計算する	C
チェックデジットを転送しない (初期値)	D
チェックデジットを転送する	E

## Codabar / NW-7 (最小桁数)

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

Codabar / NW-7 の最小桁数を設定します。	
	
4 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

## シンボル

---



設定開始



設定終了

### Codabar/NW-7(最大桁数)

設定手順

設定開始

項目バーコード

オプションコード(巻末)

設定終了

Codabar/NW-7 の最大桁数を設定します。



98 桁 (初期値)

セット

任意桁数 (1 桁 - 98 桁)

数字 2 桁

## シンボル



設定開始



設定終了

UPC

設定手順

設定開始

項目バーコード

オプションコード(巻末)

設定終了

UPC の各種パラメータを設定します。



UPC-A を読まない	0
UPC-A を読む (初期値)	1
UPC-E を読まない	2
UPC-E を読む (初期値)	3
UPC-E を UPC-A に変換しない (初期値)	4
UPC-E を UPC-A に変換する	5
UPC を JAN に変換しない (初期値)	6
UPC を JAN に変換する	7
UPC システムナンバーを転送しない	8
UPC システムナンバーを転送する (初期値)	9
UPC-A チェックデジットを転送しない	A
UPC-A チェックデジットを転送する (初期値)	B
UPC-E チェックデジットを転送しない	C
UPC-E チェックデジットを転送する (初期値)	D
先頭桁 “ 1 ” の場合は UPC と識別しない (初期値)	E
先頭桁 “ 1 ” の場合は UPC と識別する	F

## シンボル



設定開始



設定終了

### UPC/JAN セキュリティレベル

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

UPC デコードセキュリティレベルを設定します。 レベル1 が最速の読み取り設定となります。			
レベル0	0	レベル1 (初期値)	1
レベル2	2		

### UPC アドオン

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

UPC のアドオン設定をします。	
UPC アドオン無し (初期値)	0
UPC アドオン 2 桁を読む	1
UPC アドオン 5 桁を読む	2
UPC アドオン 2 / 5 桁を読む	3
UPC アドオンが追加されていないコードも読む (初期値)	4
UPC アドオンが追加されていないコードは読まない	5
UPC アドオン先頭桁にスペースを追加しない (初期値)	6
UPC アドオン先頭桁にスペースを追加する	7



## シンボル



設定開始



設定終了

設定手順

### UPC サプリメントスキャンボウディング

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

サプリメントスキャンボウディングはアドオン 2/5 桁を読み取る際の設定です。

この設定でデータを転送する前のデコード回数を設定します。

より高いレベルで設定をすると低コントラストや損傷したバーコードの読み取り速度に影響を与える可能性があります。



無効	0	レベル 7	7
レベル 1	1	レベル 8	8
レベル 2	2	レベル 9	9
レベル 3 (初期値)	3	レベル 10	A
レベル 4	4	レベル 11	B
レベル 5	5	レベル 12	C
レベル 6	6	レベル 13	D

## シンボル



設定開始



設定終了

JAN

設定手順

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

JAN の各種パラメータを設定します。	
JAN-13 を読まない	0
JAN-13 を読む (初期値)	1
JAN-8 を読まない	2
JAN-8 を読む (初期値)	3
JAN-8 を JAN-13 に変換しない (初期値)	4
JAN-8 を JAN-13 に変換する	5
JAN-13 チェックデジットを転送しない	6
JAN-13 チェックデジットを転送する (初期値)	7
JAN-8 チェックデジットを転送しない	8
JAN-8 チェックデジットを転送する (初期値)	9
ISBN/ISSN に変換しない (初期値)	A
ISBN/ISSN に変換する	B

設定手順

JAN セキュリティレベル

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

JAN デコードセキュリティレベルを設定します。 レベル1 が最速の読み取り設定となります。			
レベル0	0	レベル1 (初期値)	1
レベル2	2		

## シンボル




設定開始



設定終了

### JAN アドオン

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

JAN のアドオン設定をします。	
	
JAN アドオン無し (初期値)	0
JAN アドオン 2 桁を読む	1
JAN アドオン 5 桁を読む	2
JAN アドオン 2 / 5 桁を読む	3
JAN アドオンが追加されていないコードも読む (初期値)	4
JAN アドオンが追加されていないコードは読まない	5
JAN アドオン先頭桁にスペースを追加しない (初期値)	6
JAN アドオン先頭桁にスペースを追加する	7

### JAN スキャンボウディング

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

サプリメントスキャンボウディングはアドオン 2/5 桁を読み取る際の設定です。 この設定でデータを転送する前のデコード回数を設定します。 より高いレベルで設定をすると低コントラストや損傷したバーコードの 読み取り速度に影響を与える可能性があります。			
			
無効	0	レベル 7	7
レベル 1	1	レベル 8	8
レベル 2	2	レベル 9	9
レベル 3 (初期値)	3	レベル 10	A
レベル 4	4	レベル 11	B
レベル 5	5	レベル 12	C
レベル 6	6	レベル 13	D

## シンボル



設定開始



設定終了

### 新雑誌コード


設定手順

設定開始

項目バーコード

オプションコード(巻末)

設定終了

新雑誌コード ( JAN ) の設定します。	
	
無効 (初期値)	0
全てのアドオン追加バージョンを読む	1
先頭 491 のアドオン追加バージョンのみを読む	2
先頭 978/979 のアドオン追加バージョンのみを読む	3
先頭 977 のアドオン追加バージョンのみを読む	4
先頭 378/379 のアドオン追加バージョンのみを読む	5
先頭 414/419 のアドオン追加バージョンのみを読む	6
先頭 434/439 のアドオン追加バージョンのみを読む	7

設定手順


### UCC Coupon Extended Code

設定開始

項目バーコード

オプションコード(巻末)

設定終了

<p>UCC Coupon Extended Code の設定します。</p> <p>UCC Coupon Code を有効にすると UPC-A 先頭桁「5」と JAN-13「99」から始まるコードを読み取ります。</p> <p>この設定を有効にするには、UPC-A・JAN13 及び GS1-128 の全ての読み取りを許可しなければなりません。</p>	
	
無効 (初期値)	0
有効	1

## シンボル



設定開始



設定終了

IATA

設定手順

設定開始

項目バーコード

オプションコード(巻末)

設定終了

IATA の各種パラメータを設定します。



IATA 読まない(初期値)	0
IATA 読む	1
15桁の IATA を検査する (初期値)	2
可変長の IATA を読む	3
チェックデジットを検査しない (初期値)	4
チェックデジットを検査する	5
S/N のみを検査する	6
CAN のみを検査する	7
S/N・CAN を検査する	8
チェックデジットを転送しない (初期値)	9
チェックデジットを転送する	A
スタートストップキャラクタを転送しない (初期値)	B
スタートストップキャラクタを転送する	C

# シンボル



設定開始



設定終了

設定手順

## Interleaved 2of5

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了


Interleaved2of5 の各種パラメータを設定します。	
	
Interleaved2of5 を読まない	0
Interleaved2of5 を読む (初期値)	1
Interleaved2of5 フォーマット (初期値)	2
German Postal フォーマット	3
チェックデジット無効 (初期値)	4
USS チェックデジット有効	5
OPCC チェックデジット有効	6
チェックデジットを転送しない (初期値)	7
チェックデジットを転送する	8

設定手順

## Code25

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

Code25 の各種パラメータを設定します。	
Code25 を読み取る場合は誤読防止のため桁数を限定して 1 種類のコード体系の読み取りをお奨めいたします。	
	
Standard / Industrial 2of5 を読まない	0
Standard / Industrial 2of5 を読む (初期値)	1
Matrix 2of5 を読まない (初期値)	2
Matrix 2of5 を読む	3
チェックデジットを計算しない (初期値)	6
チェックデジットを計算する	7
チェックデジットを転送しない (初期値)	8
チェックデジットを転送する	9

## シンボル



設定開始




設定終了

### Code25(最小桁数)

設定手順

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了


Code25 の最小桁数を設定します。	
	
4 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

設定手順

### Code25(最大桁数)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

Code25 の最大桁数を設定します。	
	
98 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

# シンボル



設定開始



設定終了

設定手順

## Code11

設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

Code11 の各種パラメータを設定します。	
	
Code11 を読まない	0
Code11 を読む (初期値)	1
チェックデジットを計算しない (初期値)	2
1桁目のチェックデジットを計算する	3
2桁目のチェックデジットを計算する	4
チェックデジットを転送しない (初期値)	5
チェックデジットを転送する	6

設定手順

## Code11(最小桁数)

設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

Code11 の最小桁数を設定します。	
	
4桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1桁 - 98桁)	数字 2桁

設定手順

## Code11(最大桁数)

設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

Code11 の最大桁数を設定します。	
	
98桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1桁 - 98桁)	数字 2桁



# シンボル



設定開始



設定終了

## Code93

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

Code93 の各種パラメータを設定します。	
	
Code93 を読まない	0
Code93 を読む (初期値)	1
チェックデジットを転送しない (初期値)	2
チェックデジットを転送する	3

## Code93(最小桁数)

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

Code93 の最小桁数を設定します。	
	
1 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

## Code93(最大桁数)

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

Code93 の最大桁数を設定します。	
	
98 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

## シンボル



設定開始



設定終了

### MSI/Plessey

設定手順

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

MSI/Plessey の各種パラメータを設定します。	
MSI/Plessey を読まない (初期値)	0
MSI/Plessey を読む	1
モジュラス 10 で計算する (初期値)	2
モジュラス 10-10 で計算する	3
モジュラス 11-11 で計算する	4
チェックデジットを転送しない (初期値)	5
チェックデジットを転送する	6

設定手順

### MSI/Plessey (最小桁数)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

MSI/Plessey の最小桁数を設定します。	
4 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

設定手順

### MSI/Plessey (最大桁数)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

MSI/Plessey の最大桁数を設定します。	
98 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

# シンボル



設定開始



設定終了

設定手順

## Code128

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

Code128 の各種パラメータを設定します。	
	
Code128 と GS1-128 を読まない	0
Code128 と GS1-128 を読む (初期値)	1
ISBT 連結しない (初期値)	2
ISBT 連結する	3

設定手順

## Code128(最小桁数)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了


Code128 の最小桁数を設定します。	
	
1 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

設定手順

## Code128(最大桁数)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

Code128 の最大桁数を設定します。	
	
98 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

## シンボル



設定開始



設定終了

### GS1-128

設定手順

設定開始

項目バーコード

オプションコード(巻末)

設定終了

GS1-128 の各種パラメータを設定します。



GS1-128 を読まない

0

GS1-128 を読む (初期値)

1

設定手順

### GS1-128(最小桁数)

設定開始

項目バーコード

オプションコード(巻末)

設定終了

GS1-128 の最小桁数を設定します。



1 桁 (初期値)

セット

任意桁数 (1 桁 - 98 桁)

数字 2 桁

設定手順

### GS1-128(最大桁数)

設定開始

項目バーコード

オプションコード(巻末)

設定終了

Code128 の最大桁数を設定します。



98 桁 (初期値)

セット

任意桁数 (1 桁 - 98 桁)

数字 2 桁

## シンボル

---



設定開始



設定終了

設定手順

### Code128 セキュリティレベル

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

Code128 のデコードセキュリティレベルを設定します。  
レベル1 では印刷品質が悪く誤読をする場合はレベル0 を選択して下さい。



レベル0	0
レベル1 (初期値)	1

# シンボル



設定開始



設定終了

## UK/Plessey

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

UK/Plessey の各種パラメータを設定します。	
	
UK/Plessey を読まない (初期値)	0
UK/Plessey を読む	1
UK/Plessey スタンダードフォーマット (初期値)	2
UK/Plessey CLSI フォーマット	3
A-F を X に変換しない (初期値)	4
A-F を X に変換する	5
チェックデジットを転送しない (初期値)	6
チェックデジットを転送する	7

## UK/Plessey (最小桁数)

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

UK/Plessey の最小桁数を設定します。	
	
4 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

## UK/Plessey (最大桁数)

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

UK/Plessey の最大桁数を設定します。	
	
74 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

# シンボル



設定開始



設定終了

## Telepen

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

Telepen の各種パラメータを設定します。	
	
Telepen を読まない (初期値)	0
Telepen を読む	1
Telepen 数字モード (初期値)	2
Telepen フルアスキーモード	3
チェックデジットを転送しない (初期値)	4
チェックデジットを転送する A-F を X に変換する	5

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

## Telepen (最小桁数)

Telepen の最小桁数を設定します。	
	
4 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 – 98 桁)	数字 2 桁

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

## Telepen (最大桁数)

Telepen の最大桁数を設定します。	
	
74 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 – 98 桁)	数字 2 桁

# シンボル



設定開始




設定終了

設定手順

## GS1 Databer

設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

GS1 Databar の各種パラメータを設定します。	
	
GS1 Databer (RSS-14)を読まない	0
GS1 Databer (RSS-14)を読む (初期値)	1
GS1 Databer Limited を読まない	2
GS1 Databer Limited を読む (初期値)	3
GS1 Databer Expanded を読まない	4
GS1 Databer Expanded を読む (初期値)	5

設定手順

## GS1 Databer(最小桁数)

設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

GS1 Databer の最小桁数を設定します。	
	
4 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 – 74 桁)	数字 2 桁

設定手順

## GS1 Databer(最大桁数)

設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

GS1 Databer の最大桁数を設定します。	
	
74 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 – 74 桁)	数字 2 桁



## シンボル



設定開始



設定終了

### GS1 Databar Limited セキュリティレベル

設定手順

設定開始 項目バーコード

オプションコード(巻末) 設定終了

GS1 Databar Limited のセキュリティレベルを設定します。 この機能は F460、F560 のみ対応します。	
レベル 1	0
レベル 2	1
レベル 3 (初期値)	2

設定手順

### Composite Code (A 専用)

設定開始 項目バーコード

オプションコード(巻末) 設定終了

UPC never linked 選択 : MicroPDF417 が検知されたかに関わらず UPC バーコードを送信します。 UPC Always linked 選択 : MicroPDF417 が検知された場合のみ UPC バーコードを送信します。	
Composite Code を読まない	0
Composite Code を読む (初期値)	1
UPC never linked (初期値)	2
UPC always linked	3

設定手順

### CodablockF (A 専用)

設定開始 項目バーコード

オプションコード(巻末) 設定終了

CodablockF のパラメータを設定します。	
CodablockF を読まない (読まない)	0
CodablockF を読む	1

## シンボル



設定開始



設定終了

### PDF417/Micro PDF417 (A 専用)

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

PDF417/Micro PDF417 のパラメータを設定します。	
PDF417 を読まない (初期値)	0
PDF417 を読む	1
Micro PDF417 を読まない (初期値)	3
Micro PDF417 を読む	4

### Code16K (A 専用)

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

Code16K のパラメータを設定します。	
Code16K を読まない (読まない)	0
Code16K を読む	1

### Code16K(最小桁数) (A 専用)

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

Code16K の最小桁数を設定します。	
1 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 160 桁)	数字 3 桁

# シンボル



設定開始



設定終了

設定手順

## Code16K(最大桁数) (A 専用)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

Code16K の最大桁数を設定します。	
	
160 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 160 桁)	数字 3 桁

設定手順

## Code49 (A 専用)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了


Code49 のパラメータを設定します。	
	
Code49 を読まない (初期値)	0
Code49 を読む	1

設定手順

## Code49(最小桁数) (A 専用)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

Code49 の最小桁数を設定します。	
	
1 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 81 桁)	数字 2 桁

## シンボル



設定開始



設定終了

設定手順

**Code49(最大桁数) (A 専用)**

設定開始

項目バーコード

オプションコード(巻末)

設定終了

Code49 の最大桁数を設定します。	
	
81 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 81 桁)	数字 2 桁

設定手順

**QR Code (A 専用)**

設定開始

項目バーコード

オプションコード(巻末)

設定終了

QR Code のパラメータを設定します。	
	
QR Code を読まない	0
QR Code を読む (初期値)	1
Micro QR Code を読まない	2
Micro QR Code を読む (初期値)	3
連結 QR Code を読まない	4
連結 QR Code を読む (初期値)	5
反転 QR Code を読まない (初期値)	6
反転 QR Code を読む	7
反転 QR Code を自動検知	8

## シンボル



設定開始



設定終了

### QR Code(最小桁数) (A 専用)

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

QR Code の最小桁数を設定します。	
1 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 7089 桁)	数字 4 桁

### QR Code(最大桁数) (A 専用)

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

QR Code の最大桁数を設定します。	
7089 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 7089 桁)	数字 4 桁

### Data Matrix (A 専用)

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

Data Matrix のパラメータを設定します。	
Data Matrix を読まない	0
Data Matrix を読む (初期値)	1
反転 Data Matrix を読まない (初期値)	4
反転 Data Matrix を読む	5
反転 Data Matrix 自動検知	6
反射 Data Matrix を読まない	7
反射 Data Matrix を読む	8
反射 Data Matrix 自動検知 (初期値)	9

## シンボル



設定開始



設定終了

設定手順

### Data Matrix (最小桁数) (A 専用)

設定開始      項目バーコード  
オプションコード(巻末)      設定終了

Data Matrix の最小桁数を設定します。	
1 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 3116 桁)	数字 4 桁

設定手順

### Data Matrix (最大桁数) (A 専用)

設定開始      項目バーコード  
オプションコード(巻末)      設定終了

Data Matrix の最大桁数を設定します。	
3116 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 3116 桁)	数字 4 桁

設定手順

### Small Data Matrix (A 専用)

設定開始      項目バーコード  
オプションコード(巻末)      設定終了

縮小 Data Matrix の読み取り設定をします。	
標準 (初期値)	0
レベル 1	1
レベル 2	2

# シンボル




設定開始



設定終了

## Maxi Code (A 専用)

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

Maxi Code のパラメータを設定します。	
	
Maxi Code を読まない (初期値)	0
Maxi Code を読む	1

## Maxi Code (最小桁数) (A 専用)

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

Maxi Code の最小桁数を設定します。	
	
1 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 150 桁)	数字 3 桁

## Maxi Code (最大桁数) (A 専用)

設定手順  
 設定開始      項目バーコード  
 オプションコード(巻末)      設定終了

Maxi Code の最大桁数を設定します。	
	
150 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 150 桁)	数字 3 桁

# シンボル



設定開始




設定終了

設定手順

## Aztec Code (A 専用)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

Aztec Code のパラメータを設定します。	
	
Aztec Code を読まない	0
Aztec Code を読む (初期値)	1

設定手順

## Aztec Code (最小桁数) (A 専用)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

Aztec Code の最小桁数を設定します。	
	
1 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 3832 桁)	数字 4 桁

設定手順

## Aztec Code (最大桁数) (A 専用)

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

Aztec Code の最大桁数を設定します。	
	
3832 桁 (初期値)	セット
任意桁数 (1 桁 - 3832 桁)	数字 4 桁



## シンボル



設定開始



設定終了

### Australian Post

設定手順

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

Australian Post のパラメータを設定します。	
	
Australian Post を読まない (初期値)	0
Australian Post を読む	1
生データ出力 (初期値)	2
数字エンコード出力 (Nエンコードテーブル)	3
アルファベットエンコード出力 (Cエンコードテーブル)	4
自動判別出力 (C & Nエンコードテーブル)	5

設定手順

### US Planet

設定開始      項目バーコード

オプションコード(巻末)      設定終了

US Planet のパラメータを設定します。	
	
US Planet を読まない (初期値)	0
US Planet を読む	1
チェックデジットを送信しない (初期値)	2
チェックデジットを送信する	3

# シンボル



設定開始



設定終了

設定手順


## US Postnet

設定開始

項目バーコード

オプションコード(巻末)

設定終了

US Postnet のパラメータを設定します。	
	
US Postnet を読まない (初期値)	0
US Postnet を読む	1
チェックデジットを送信しない (初期値)	2
チェックデジットを送信する	3

設定手順

## British Postnet

設定開始

項目バーコード

オプションコード(巻末)

設定終了

British Postnet のパラメータを設定します。	
	
British Postnet を読まない (初期値)	0
British Postnet を読む	1
チェックデジットを送信しない (初期値)	2
チェックデジットを送信する	3

設定手順

## Japanese Post

設定開始

項目バーコード

オプションコード(巻末)

設定終了

Japanese Post のパラメータを設定します。	
	
Japanese Post を読まない (読まない)	0
Japanese Post を読む	1

## シンボル



設定開始



設定終了

### Netherland KIX Code

設定手順

設定開始

項目バーコード

オプションコード(巻末)

設定終了

Netherland KIX Code のパラメータを設定します。	
Netherland KIX Code を読まない (読まない)	0
Netherland KIX Code を読む	1

設定手順

### Intelligent Mail (USPS 4CB/One Code)

設定開始

項目バーコード

オプションコード(巻末)

設定終了

Intelligent Mail のパラメータを設定します。	
Intelligent Mail を読まない (読まない)	0
Intelligent Mail を読む	1

設定手順

### Korea Post Code

設定開始

項目バーコード

オプションコード(巻末)

設定終了

Korea Post Code のパラメータを設定します。	
Korea Post Code を読まない (読まない)	0
Korea Post Code を読む	1

# データウィザード



設定開始



設定終了

設定手順

## データ付加機能

データウィザード設定方法のページを参照して下さい。

読み取ったデータに任意のキャラクタを付加する設定をします。	
無効 (初期値)	セット
特定のシンボルを指定して適用する	2桁
全てのシンボルを適用する	00

設定手順

## セット1

データウィザード設定方法のページを参照して下さい。

任意のキャラクタ1を設定します。(最大3キャラクタ)	
無効 (初期値)	セット
有効	設定手順参照

設定手順

## セット2

データウィザード設定方法のページを参照して下さい。

任意のキャラクタ2を設定します。(最大3キャラクタ)	
無効 (初期値)	セット
有効	設定手順参照

## データウィザード

---



設定開始



設定終了

設定手順

### セット 3


データウィザード設定方法のページを参照して下さい。

任意のキャラクタ 3 を設定します。(最大 3 キャラクタ)	
	
無効 (初期値)	セット
有効	設定手順参照

設定手順

### セット 4

データウィザード設定方法のページを参照して下さい。

任意のキャラクタ 4 を設定します。(最大 3 キャラクタ)	
	
無効 (初期値)	セット
有効	設定手順参照

# データウィザード



設定開始




設定終了

## データ照合機能

設定手順

データウィザード設定方法のページを参照して下さい。

読み取ったデータを照合する設定をします。	
	
無効 (初期値)	セット
特定のシンボルを指定して適用する	2桁
全てのシンボルを適用する	00

設定手順

## データ桁数

データウィザード設定方法のページを参照して下さい。

読み取ったデータの桁数を設定します。	
	
無効 (初期値)	セット
有効	設定手順参照

設定手順

## セット1

データウィザード設定方法のページを参照して下さい。

照合するデータ1を設定します。	
	
無効 (初期値)	セット
有効	設定手順参照

## データウィザード

---



設定開始




設定終了

設定手順

### セット 2


データウィザード設定方法のページを参照して下さい。

照合するデータ 2 を設定します。	
	
無効 (初期値)	セット
有効	設定手順参照

設定手順

### セット 3

データウィザード設定方法のページを参照して下さい。

照合するデータ 3 を設定します。	
	
無効 (初期値)	セット
有効	設定手順参照

# データウィザード



設定開始



設定終了

## データ置換機能

設定手順

データウィザード設定方法のページを参照して下さい。

読み取ったデータを置換する設定をします。	
無効 (初期値)	セット
特定のシンボルを指定して適用する	2桁
全てのシンボルを適用する	00

設定手順

## セット1

データウィザード設定方法のページを参照して下さい。

置換するデータ1を設定します。	
無効 (初期値)	セット
有効	設定手順参照

設定手順

## セット2

データウィザード設定方法のページを参照して下さい。

置換するデータ2を設定します。	
無効 (初期値)	セット
有効	設定手順参照



## データウィザード

---



設定開始



設定終了


設定手順

データウィザード設定方法のページを  
参照して下さい。

### セット 3

置換するデータ 3 を設定します。



置換するデータ 3 を設定します。	
	
無効 (初期値)	セット
有効	設定手順参照

# データウィザード



設定開始



設定終了

## データ構成機能

設定手順

データウィザード設定方法のページを参照して下さい。

読み取ったデータの出力構成を設定します。	
無効 (初期値)	セット
特定のシンボルを指定して適用する	2桁
全てのシンボルを適用する	00

設定手順

## セット1 (後方出力)

データウィザード設定方法のページを参照して下さい。

データの後方を出力する設定をします。	
無効 (初期値)	セット
有効	設定手順参照

設定手順

## セット2 (前方出力)

データウィザード設定方法のページを参照して下さい。

データの前方を出力する設定をします。	
無効 (初期値)	セット
有効	設定手順参照

## データウィザード

---



設定開始



設定終了

設定手順

データウィザード設定方法のページを  
参照して下さい。

### 指定キャラクタのデータ

指定した桁数のキャラクタを含む・含まないの設定をします。



指定された桁数のデータを送信データに含まない (初期値)	0
指定された桁数のデータを送信データに含む	1

# データウィザード

## データウィザードの設定方法

### (1) シンボル

データウィザードで使用するシンボルコードは下記をご参照下さい。

1次元シンボル			
Code-128	01	Caina Postal Code	58
GS1-128	31	Germany Postal Code	68
UPC-A	02	Standard / Industrial 2 of 5	08
UPC-A アドオン 2桁	32	Code93	09
UPC-A アドオン 5桁	42	Code11	10
UPC-E	03	MSI/Plessey	11
UPC-E アドオン 2桁	33	UK/Plessey	12
UPC-E アドオン 5桁	43	Telepen	13
JAN-13	04	GS1 Databar(RSS-14)	14
JAN-13 アドオン 2桁	34	IATA	15
JAN-13 アドオン 5桁	44	Coupon Code	16
JAN-8	05	PDF417	17
JAN-8 アドオン 2桁	35	CodablockF	18
JAN-8 アドオン 5桁	45	Code 16K	19
Codabar / NW-7	06	Code49	20
Code39	07	GS1 Databar Limited	22
Code32	37	GS1 Databar Expanded	23
Tripotic Code 39	47	Composite Codes	24
Matrix 2 of 5	38	MicroPDF417	25
Interleaved 2 of 5	48		
2次元シンボル			
QR Code	A0	Maxi Code	A2
Micro QR Code	A0	Aztec Code	A3
Data Matrix	A1	Chinese Sensible Code	A4
GS1 DataMatrix	A5		
ポータルコード			
Korea Post Code	21	Japanese Post	B4
Australian Post	B0	KIX Post	B5
British Post	B1	Planet Code	B6
Intelligent Mail	B3	Postnet	B8

## データウィザード

---

### ( 2 ) 設定方法の例

#### データ付加機能

例 : Code39 の「0123456789」の 45 の間に A を付加する。

: Code39 を指定

設定開始      設定コード(データ付加機能)      Code39 を指定「07」      設定終了

: を指定して 45 の間に A キャラクタを付加

設定開始      設定コード(セット 1)      位置指定「セット 1」      キャラクタを指定「41」  
設定終了

設定後の出力結果は「0123456789」が「01234A56789」となります。

#### データ照合機能

例 : Code39 の「0123456789」の 4 を一致照合する。

: Code39 を指定

設定開始      設定コード(データ照合機能)      Code39 を指定「07」      設定終了

: データの桁数を照合

設定開始      設定コード(データ桁数)      桁数指定「10」      セット      設定終了

: データのキャラクタを照合

設定開始      設定コード(セット 1)      位置指定「05」      キャラクタ指定「34」  
セット      設定終了

設定後は Code39 で 5 桁目が 4 の場合のみ読み取りを行います。

## データウィザード

---

### データ置換機能

例：Code39 の「0123456789」の 4 を A に置換する。

：Code39 を指定

設定開始      設定コード(データ置換機能)      Code39 を指定「07」      設定終了

：位置を指定して置換キャラクタを指定

設定開始      設定コード(セット1)      位置指定「05」      キャラクタ指定「41」  
セット      設定終了

設定後の出力結果は「0123456789」が「0123A56789」となります。

### データ構成機能

例：JAN-13、「4976558101499」から「6558101」のみを出力する。

：JAN-13 を指定

設定開始      設定コード(データ置換機能)      Code39 を指定「04」      設定終了

：セット1(後方出力)を指定

設定開始      設定コード(セット1)      位置指定「03」      後方出力「1」      設定終了

：セット2(前方出力)を指定

設定開始      設定コード(セット2)      位置指定「09」      前方出力「0」      設定終了

：指定キャラクタの出力を指定

設定開始      設定コード(指定キャラクタのデータ)      含む「1」      設定終了

設定後の出力結果は「4976558101499」が「6558101」となります。

# データウィザード

## データ構成機能の設定イメージ

### 位置情報

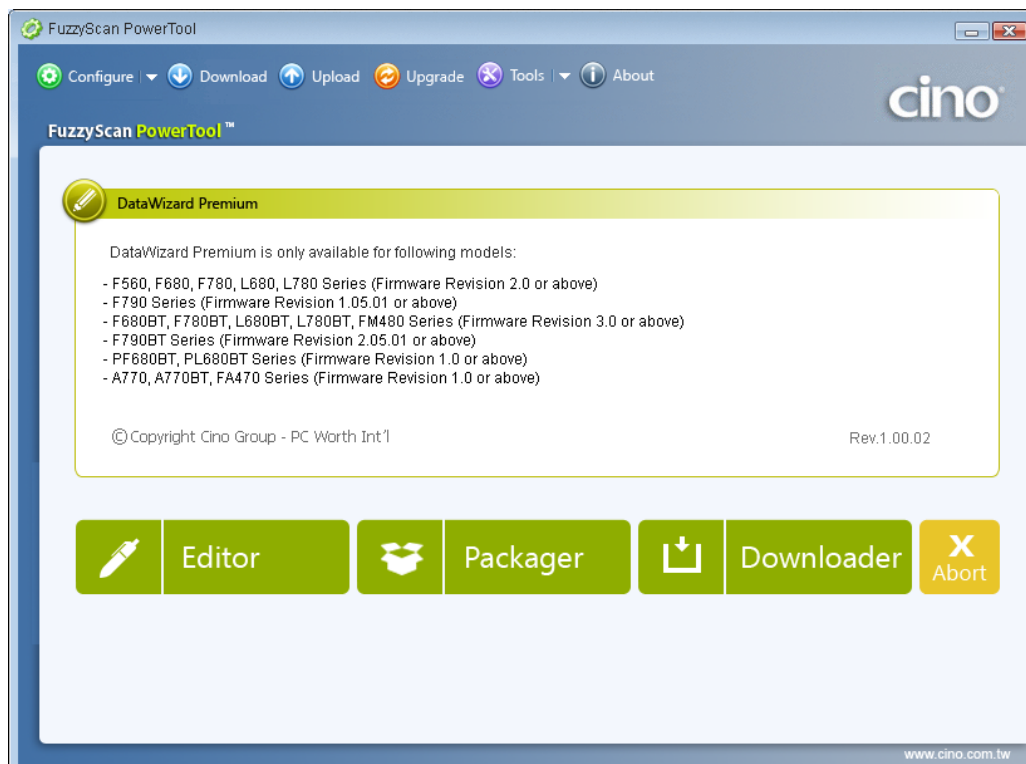
位置	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
桁数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
データ	4	9	7	6	5	5	8	1	0	1	4	9	9

### 設定イメージ解説

セット1	4番目以降のデータを出力する												
セット2	9番目以前のデータを出力する												
指定	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

### \*データウィザードで編集が難しい場合\*

データウィザードで編集が難しい場合はデータ高編集プラグイン機能の「データウィザードプレミアム」をご検討下さい。  
本機能をご希望のお客様は販売代理店にご相談下さい。



## ファンクションコードテーブル(キーボード)

ファンクションコードテーブルは制御コードが挿入されたバーコードをを読み取った際に置き換わるファンクションキーを記載した表です。

No	ANSI	ASCII	ファンクション	No	ANSI	ASCII	ファンクション
00	NUL	00	Reserved	16	DLE	10	F7
01	SOH	01	CTRL(Left)	17	DC1	11	F8
02	STX	02	ALT(Left)	18	DC2	12	F9
03	ETX	03	Shift	19	DC3	13	F10
04	EOT	04	Caps Lock	20	DC4	14	F11
05	ENQ	05	Num Lock	21	NAK	15	F12
06	ACK	06	ESC	22	SYN	16	Ins(Insert)(Edit)
07	BEL	07	F1	23	ETB	17	Del(Delete)(Edit)
08	BS	08	Back Space	24	CAN	18	Home(Edit)
09	HT	09	Tab	25	EM	19	End(Edit)
10	LF	0A	F2	26	SUB	1A	PageUp(Edit)
11	VT	0B	F3	27	ESC	1B	PageDown(Edit)
12	FF	0C	F4	28	FS	1C	Up(Edit)
13	CR	0D	Enter(CR)	29	GS	1D	Down(Edit)
14	SO	0E	F5	30	RS	1E	Left(Edit)
15	SI	0F	F6	31	US	1F	Right(Edit)

\*ASCII は HEX 表示です。



## ASCII コードテーブル

ASCII コード表はキャラクタの指定に使う表です。

各種設定で利用する際は HEX 値の指定でキャラクタを選択します。

HEX 値	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SPACE	0	@	P	·	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	“	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	‘	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x
9	HT	EM	)	9	I	Y	l	y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{
C	FF	FS	,	<	L	\	l	
D	CR	GS	~	=	M	]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

### キャラクタの指定例

「1」を指定する場合

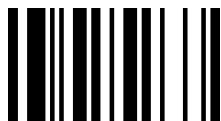
“1”は横の列で4列目にあり、横列の番号で言うと「3」の列にあります。

“1”は縦の列で2列目にあり、縦列の番号で言うと「1」の列にあります。

従って、横“3” 縦“1”となり設定用オプションバーコードで1を指定する際は「31」となります。

## オプションコード（設定用バーコード）

---



0



8



4



C



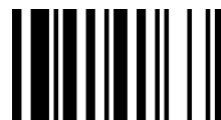
1



9



5



D



2



A



6



E



3



B



7



F



セット



設定終了

## システムコマンドバーコード

---

### 工場出荷時設定



本設定バーコードを読み取ると全ての設定が工場出荷時の初期値に戻ります。

### システムインフォメーションリスト



本設定バーコードを読み取ると指定したインターフェースからバージョンを出力します。

### セーブユーザーデフォルト



本設定バーコードを読み取ると現在の設定をフラッシュエリアに保存します。

### ユーザーデフォルト



本設定バーコードを読み取ると保存した設定を呼び出して設定されます。

# サンプルバーコード

---

UPC-A



UPC-E



JAN-13



JAN-8



Code39



# サンプルバーコード

---

Codabar / NW-7



Interleaved 2of5



Code93



Matrix 2of5



Code128



## サンプルバーコード

---

GS1 Databer(RSS-14)



新雑誌コード

(JAN13 + アドオン5桁)



## サンプルバーコード

---

QR Code



Data Matrix





株式会社アイエムプロジェクト

〒333-0811 埼玉県川口市戸塚 2-21-34

アルトピアノノ 2F

TEL : 048-299-5062 FAX : 048-456-5382

<http://www.improject.co.jp>

201609